

当社企業グループは、2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた海岸防災林の復活活動に取り組んでいます。

これは「震災によって失われたみどり豊かな海岸防災林の復活を望む地域の方々の思い」と「東北の復興に積極的に関わり復興を支援したいという社員の高い志、思い」を結びつけ、「津波で被害を受けた海岸防災林復活の手伝いをしよう」という社員ボランティア活動として2013年に始まったもので、宮城県岩沼市や福島県南相馬市での植樹祭を中心に参加しています。

2016年度からは、さらに環境面から地域の復興に貢献していくため、植樹活動「東北電力グループ 相馬 希望の森」を実施しています。

### 東北電力グループ 相馬 希望の森

2016年3月に福島県、相馬市、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、および当社の4者間で「福島県相馬地区における海岸防災林の再生に向けた植樹活動に関する協定書」を締結し、福島県相馬市磯部の大洲地区において、5月と6月の二回に分けて近隣の小・中学校とともに植樹活動を行いました。

植樹活動では、両日合わせて、当社企業グループから約130名、近隣の小・中学校から約170名が参加し、約4200本のクロマツを植樹しました。



### 千年希望の丘植樹祭

2016年5月に宮城県岩沼市で開催された「第4回千年希望の丘植樹祭2016」に参加しました。



### 福島県いわき市での植樹活動

当社いわき営業所およびいわき技術センターでは、いわき市新舞子地区の海岸防災林復活活動を実施しています。

